

PLAN	No.	6	—	1	基本事務事業名	行政財産管理事務	事務事業名	行政財産管理事務	公的関与	4	シート作成日	令和4年8月12日					
	部局名	企画総務部				課名	契約管財課	主務課長名	吉成 永吾	シート作成者名	坂尻 翔都						
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託						
		☐ 2 ハード事業		☒ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☒ 2 一部委託		☐ 4 補助等						
	総合計画	基本構想(政策)				該当なし		実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施策)						☐ 1 該当		令和		年	～	令和		年	☒ 期間設定なし
		主要施策						☒ 2 非該当		根拠法令等							
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		行政財産													
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	行政財産の有効活用を図ります。												
				今年度	行政財産の有効活用を図ります。												
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)																
	① 公園遊具安全点検																
	② 園地・施設の整備																
	③ 建物災害共済																
	④																
	⑤																
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由			単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標						
			指標設定になじまないため設定しない。				目標										
							実績										
							目標										
							実績										
							目標										
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	2	財産管理費		
			令和 2 年度決算			令和 3 年度決算			令和 4 年度予算			備考					
	直接事業費	国庫支出金				千円				千円							
		県支出金				千円				千円							
		地方債				千円				千円							
		その他特定財源				千円				千円							
		一般財源	693			千円	670			千円	725			千円			
			計(A)			693			千円	670			千円	725			千円
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.204	人	1,248	千円	0.204	人	1,242	千円	0.204	人	1,233	千円			
		臨時・嘱託職種															
		臨時・嘱託工数・経費		人	0	千円		人	0	千円		人	0	千円			
	全体事業費(A+B)					1,941			千円	1,912			千円	1,958			千円

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	建物・遊具の老朽化により、その安全性が問われているため、必要です。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	市民が安心して使用できるよう、危険性があるものは修繕しています。また、適時に修繕できなかった場合には、賠償保険の対象にならない状態も生じます。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	市が設置した遊具については、すべて点検しています。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	遊具点検は毎年実施していますが、建物も含め所管課での修繕・巡視は必要です。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	公園等の遊具について年1回の点検を実施し、その結果を所管課に報告しています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	遊具の点検を一括して実施し、修繕等は所管課が次回点検までに対応しています。					法令に基づき管理できています。今後も市民が安心して使用できるよう適正管理に努めます。				
	委員会指摘事項										

PLAN	No.	6	—	2	基本事務事業名	普通財産管理事務		事務事業名	普通財産処分事務		公的関与	2	シート作成日	令和4年8月12日	
	部局名	企画総務部			課名	契約管財課		主務課長名	吉成 永吾		シート作成者名	佐々木 大祐			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☒ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共につくる阿波					実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(5) 計画的な行財政運営の推進					☐ 1 該当		令和 17 年 ~		令和 年 ☒ 期間設定なし		
		主要施策		(3) 公共施設の総合的な管理の推進					☒ 2 非該当		根拠法令等				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	普通財産												
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	普通財産の効率的な有効活用を図ります。											
			今年度	普通財産の効率的な有効活用を図ります。											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 土地・建物等、普通財産の売却														
	② 公有財産処分等検討委員会の開催														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標							
		指標設定になじまないため設定しない。		目標											
				実績											
				目標											
				実績											
				目標											
			実績												
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	2	財産管理費	
			令和 2 年度決算			令和 3 年度決算		令和 4 年度予算		備考					
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円				
		県支出金			千円			千円			千円				
		地方債			千円			千円			千円				
		その他特定財源			千円			千円			千円				
		一般財源			千円			千円			千円				
		計(A)	0		千円	0		千円	0		千円				
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.050 人	306	千円	0.050 人	304	千円	0.050 人	302	千円				
		臨時・嘱託職種													
		臨時・嘱託工数・経費	人	0	千円	人	0	千円	人	0	千円				
	全体事業費(A+B)		306		千円	304		千円	302		千円				

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	未利用公有財産については維持管理費等のコストもかかるため、処分する必要があります。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	公有財産管理システム等を活用し売却可能な公有財産を把握します。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	好条件な物件が少なく、成果は上がりにくい、一般競争入札で払下げできたり、有償貸付を開始した物件もある。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☒ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☒ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☐ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	インターネットによる入札手続きや、他の施策と連携するなど、改善する余地はあります。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☒ ある	☐ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	2	3	B	4	4	3	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実		☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	☐ 拡大・充実		☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等
		☐ 縮小		☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		☐ 縮小		☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止	
	当面の課題	市営住宅跡地など、好条件な物件を中心に処分を進める必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	今後も継続して事業を進めていきます。					自主財源確保のため未利用公有財産の売却だけでなく、貸付の可能性も検討します。					
委員会指摘事項											

PLAN	No.	6	—	3	基本事務事業名	普通財産管理事務		事務事業名	普通財産貸付事務		公的関与	2	シート作成日	令和4年8月12日			
	部局名	企画総務部			課名	契約管財課		主務課長名	吉成 永吾		シート作成者名	坂尻 翔都					
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託						
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等						
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共につくる阿波				実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施策)		(5) 計画的な行財政運営の推進				☐ 1 該当		令和		年	～	令和		年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(3) 公共施設の総合的な管理の推進				☒ 2 非該当		根拠法令等		阿波市財務規則					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市民														
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	普通財産の効率的な有効活用を図ります。													
			今年度	普通財産の効率的な有効活用を図ります。													
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)																
	① 普通財産の貸付																
	② 公有財産処分等検討委員会開催																
	③																
	④																
	⑤																
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標									
	貸付件数			目標													
				実績	32	34											
				目標													
				実績													
				目標													
実績																	
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	2	財産管理費			
			令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考											
	直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円												
		県支出金	千円	千円	千円												
		地方債	千円	千円	千円												
		その他特定財源	千円	千円	千円												
		一般財源	千円	千円	千円												
		計(A)	0 千円	0 千円	0 千円												
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.260 人	1,591 千円	0.260 人	1,583 千円	0.260 人	1,571 千円									
		臨時・嘱託職種															
臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円										
全体事業費(A+B)		1,591 千円		1,583 千円		1,571 千円											

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	未利用公有財産の貸付の必要があります。 民間事業地・宅地等に含まれている財産について、貸付の受付・事務を推進します。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	公有財産管理システム等を活用し貸付可能な公有財産を把握します。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	公有財産管理システム等を活用し、推進します。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	公有財産処分等検討委員会において検討します。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☒ ある	☐ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	貸付可能な公有財産を貸付します。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	今後も継続して事業を進めていきます。					近隣の動向の把握に努めるとともに、今後も適正管理に努めます。				
	委員会指摘事項										

PLAN	No.	6	—	4	基本事務事業名	本庁舎管理事務	事務事業名	庁舎物品購入事務	公的関与	2	シート作成日	令和4年8月12日			
	部局名	企画総務部			課名	契約管財課	主務課長名	吉成 永吾	シート作成者名	坂尻 翔都					
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策) 6. 共に生き、共につくる阿波					実施計画		事業の開始・終了						
		基本計画(施策) (5)計画的な行財政運営の推進					☐ 1 該当		令和 年 ~	令和 年	☐ 期間設定なし				
		主要施策					☒ 2 非該当		根拠法令等						
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	庁舎用物品												
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	庁舎用の備品及び消耗品を購入します。											
			今年度	コピー用紙、衛生消耗品、什器を購入します。											
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① コピー用紙の購入														
	② 衛生消耗品の購入														
	③ 封筒の購入														
	④ 備品台帳の整備														
	⑤ 什器の購入														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標					
			指標設定になじまないため 設定しない。			目標									
						実績									
						目標									
						実績									
						目標									
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	2	財産管理費	
			令和 2 年度決算			令和 3 年度決算			令和 4 年度予算			備考			
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円				
		県支出金			千円			千円			千円				
		地方債			千円			千円			千円				
		その他特定財源			千円			千円			千円				
		一般財源	9,735		千円	9,425		千円	8,068		千円				
		計(A)	9,735		千円	9,425		千円	8,068		千円				
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500	人	3,059	千円	0.500	人	3,044	千円	0.500	人	3,021	千円	
		臨時・嘱託職種													
		臨時・嘱託工数・経費		人	0	千円		人	0	千円		人	0	千円	
	全体事業費(A+B)				12,794	千円			12,469	千円			11,089	千円	

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	必要な物品が揃っていないと、業務が停滞する可能性があります。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	他の部署の物品をまとめて購入することで、経費削減につながります。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	必要性のある物品を厳選して購入しています。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	少額のものとは随意契約となりますが、可能な限り入札による契約としています。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	ほかにも適用できる物品がないかを検討します。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	今後も継続して必要な物品を購入します。					効率的に使用し、計画的に購入します。				
	委員会指摘事項										

PLAN	No.	6	—	5	基本事務事業名	本庁舎管理事務		事務事業名	庁舎防火管理事務		公的関与	2	シート作成日	令和4年8月12日			
	部局名	企画総務部			課名	契約管財課		主務課長名	吉成 永吾		シート作成者名	坂尻 翔都					
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託						
		☐ 2 ハード事業		☒ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等						
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共につくる阿波				実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施策)		(5) 計画的な行財政運営の推進				☐ 1 該当		令和		年	～	令和		年	☐ 期間設定なし
		主要施策		(3) 公共施設の総合的な管理の推進				☒ 2 非該当		根拠法令等		消防法					
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	庁舎(付属施設)														
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	火災を未然に防ぎます。													
			今年度	消防設備保守点検を実施します。													
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)																
	① 消防対象物の保守点検・検査業務																
	② 防火訓練(年2回)の実施																
	③ 危険物施設等の立入検査																
	④ 消防法に伴う届出ほか																
	⑤																
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標									
		指標設定になじまないため設定しない。		目標													
				実績													
				目標													
				実績													
				目標													
			実績														
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	2	財産管理費			
			令和 2 年度決算			令和 3 年度決算		令和 4 年度予算		備考							
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円						
		県支出金			千円			千円			千円						
		地方債			千円			千円			千円						
		その他特定財源			千円			千円			千円						
		一般財源			千円			千円			千円						
		計(A)	0		千円	0		千円	0		千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.050 人	306	千円	0.050 人	304	千円	0.050 人	302	千円						
		臨時・嘱託職種															
		臨時・嘱託工数・経費	人	0	千円	人	0	千円	人	0	千円						
	全体事業費(A+B)		306		千円	304		千円	302		千円						

CHECK		チェック項目		一次評価		一次評価の説明		二次評価			
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	庁舎の火災を未然に防ぎ、火災になっても速やかに消火する必要があります。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	火災を防ぐことにより、市民の財産を守ります。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	消防法に基づき、消防設備の点検を実施します。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	関係法令に基づき、効率的に運用しています。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小		☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小		☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等
	当面の課題	職員の防災意識の向上に努める必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	今後も継続して事業を進めていきます。					法令に基づき、今後も適正管理に努めます。				
	委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート 令和3年度実施事業対象

PLAN	No.	6	—	6	基本事務事業名	本庁舎管理事務	事務事業名	公用車管理事務	公的関与	3	シート作成日	令和4年8月12日			
	部局名	企画総務部			課名	契約管財課	主務課長名	吉成 永吾	シート作成者名	佐々木 大祐					
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策) 6. 共に生き、共につくる阿波						実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策) (5) 計画的な行財政運営の推進						☐ 1 該当		令和 年 ~	令和 年	☒ 期間設定なし			
		主要施策 (2) 効率的で持続可能な財政運営の推進						☒ 2 非該当		根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	公用車												
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	安全かつ効率的に使用できるようにします。											
			今年度	安全かつ効率的に使用できるようにします。											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 公用車の貸出														
	② 公用車の法定点検(車検)整備・修理														
	③ 公用車の台数管理														
	④ 自動車損害共済(事故等処理手続)														
	⑤ 車両の購入・廃車・売却等														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標					
			指標設定になじまないため設定しない。			目標									
						実績									
						目標									
						実績									
						目標									
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	2	財産管理費
			令和 2 年度決算		令和 3 年度決算		令和 4 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円								
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	17,726 千円		11,996 千円		17,553 千円								
		計(A)	17,726 千円		11,996 千円		17,553 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.238 人	1,456 千円		0.238 人	1,449 千円		0.238 人	1,438 千円					
		臨時・嘱託職種													
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円		人	0 千円		人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		19,182 千円		13,445 千円		18,991 千円								

CHECK		チェック項目		一次評価		一次評価の説明		二次評価			
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	安全かつ効率的な公用車の使用に必要です。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	職員は、グループウェアにより貸付予約ができます。また、定期的な整備により安全性が確保されています。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	集中管理により全体数の不足は解消されています。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	効率的な運用により、経費を削減します。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実		☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	☐ 拡大・充実		☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等
		☐ 縮小		☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		☐ 縮小		☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止	
	当面の課題	老朽化が著しく使用頻度の少ない車両を廃車し、環境負荷の少ないクリーンエネルギー車等へ順次入れ替えをし、適正な配置を図っていく必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	管財担当で公用車の一元管理を継続します。					計画を立て年次的に入れ替えをします。					
委員会指摘事項											

PLAN	No.	6	—	7	基本事務事業名	本庁舎管理事務		事務事業名	庁舎電話維持管理事務		公的関与	3	シート作成日	令和4年8月12日				
	部局名	企画総務部			課名	契約管財課		主務課長名	吉成 永吾		シート作成者名	坂尻 翔都						
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託							
		☐ 2 ハード事業		☒ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等							
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共につくる阿波					実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施策)		(5) 計画的な行財政運営の推進					☐ 1 該当		令和		年	～	令和		年	☒ 期間設定なし
		主要施策							☒ 2 非該当		根拠法令等							
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		IP電話システム														
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	電話機器を正常に運用します。													
				今年度	電話機器の維持管理を行います。													
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)																	
	① IP電話システム機器保守業務																	
	② 機器の維持補修																	
	③ 機器の適正配置																	
	④																	
	⑤																	
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標								
			指標設定になじまないため設定しない。			目標												
						実績												
						目標												
						実績												
						目標												
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	2	財産管理費			
			令和 2 年度決算		令和 3 年度決算		令和 4 年度予算		備考									
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円							
		県支出金			千円			千円			千円							
		地方債			千円			千円			千円							
		その他特定財源			千円			千円			千円							
		一般財源	568 千円		93 千円		490 千円											
		計(A)	568 千円		93 千円		490 千円											
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.177 人	1,083 千円		0.177 人	1,078 千円		0.177 人	1,069 千円								
		臨時・嘱託職種																
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円		人	0 千円		人	0 千円								
	全体事業費(A+B)				1,651 千円		1,171 千円		1,559 千円									

CHECK		チェック項目		一次評価		一次評価の説明		二次評価			
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。		☐ 少ない	☒ 大きい	通信を確保する必要があるため、機器の保守は重要です。		☐ 少ない	☒ 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。		☐ ない	☒ ある			☐ ない	☒ ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。		☐ ある	☒ ない			☐ ある	☒ ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。		☐ いる	☒ いない			☐ いる	☒ いない		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。		☐ いえない	☒ いえる	機構改革による組織の変更にも対応できます。		☐ いえない	☒ いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。		☐ いえない	☒ いえる			☐ いえない	☒ いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。		☐ する	☒ しない			☐ する	☒ しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。		☐ できない	☒ できる			☐ できない	☒ できる		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。		☐ 目標に比べて劣っている	機器更新後問題なく運用できています。		☐ 目標に比べて劣っている				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。		☐ あまり上がっていない			☐ あまり上がっていない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。		☐ 概ね達成している			☐ 概ね達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。		☒ 十分達成している			☒ 十分達成している				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。		☐ 高い	☒ 適当	IP化により、将来的に有効なシステムとなっています。		☐ 高い	☒ 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。		☐ できる	☒ できない			☐ できる	☒ できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。		☐ ある	☒ ない			☐ ある	☒ ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。		☐ ある	☒ ない			☐ ある	☒ ない		
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実		☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	☐ 拡大・充実		☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等
		☐ 縮小		☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		☐ 縮小		☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止	
	当面の課題	庁舎移転後対象機器が増加していますので、維持管理の適正管理に努めます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	今後も維持管理に努めます。					適正に管理できています。今後も維持管理に努めます。					
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 令和3年度実施事業対象

PLAN	No.	6	—	8	基本事務事業名	本庁舎管理事務		事務事業名	庁舎修繕事務		公的関与	2	シート作成日	令和4年8月12日			
	部局名	企画総務部			課名	契約管財課		主務課長名	吉成 永吾		シート作成者名	佐々木 大祐					
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託						
		☐ 2 ハード事業		☒ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等						
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共につくる阿波				実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施策)		(5) 計画的な行財政運営の推進				☐ 1 該当		令和		年	～	令和		年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(3) 公共施設の総合的な管理の推進				☒ 2 非該当		根拠法令等							
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	阿波市役所														
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	機能や美観を維持します。													
			今年度	設備の故障、建築物の損傷箇所の修繕等を行います。													
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)																
	① 庁舎の修繕(外構含む)																
	②																
	③																
	④																
	⑤																
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度 を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標									
		指標設定になじまないため設定しない。		目標													
				実績													
				目標													
				実績													
				目標													
DO	予算費目	会 計	一般会計		款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	2	財産管理費				
			令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考											
	直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円												
		県支出金	千円	千円	千円												
		地方債	千円	千円	千円												
		その他特定財源	千円	千円	千円												
		一般財源	3,600 千円	589 千円	3,900 千円												
		計(A)	3,600 千円	589 千円	3,900 千円												
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.286 人	1,750 千円	0.286 人	1,741 千円	0.286 人	1,728 千円									
		臨時・嘱託職種															
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円									
	全体事業費(A+B)		5,350 千円		2,330 千円		5,628 千円										

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					☐ 少ない	☒ 大きい	設備の経年劣化等による不具合も出てきており、庁舎機能を維持していく上で必要とする部分については修繕が必要です。	☐ 少ない	☒ 大きい	
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある	
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					☐ いえない	☒ いえる	市民にとって利便性の高い庁舎とするために、随時修繕を行い庁舎機能を維持しています。	☐ いえない	☒ いえる	
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる	
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない	
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる	
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					☐ 目標に比べて劣っている	必要な部分は、予算の範囲内で修繕しています。	☐ 目標に比べて劣っている			
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない			
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					☒ 概ね達成している		☒ 概ね達成している			
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					☐ 十分達成している		☐ 十分達成している			
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					☐ 高い	☒ 適当	保守点検結果を参考に修繕を実施することにより、設備等の長寿命化に努めています。	☐ 高い	☒ 適当	
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない	
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
ACTION	評価点	一次評価					二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	今後の方向性	4	4	3	4	A	4	4	3	4	A	
		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		
	当面の課題	庁舎完成から7年が経過し、修繕及び更新が必要な設備等が多くなり、費用が増加すると予想されます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 計画的に修繕を行います。					
	改革案と実行計画	庁舎機能を維持していく上で必要な修繕を優先して実施します。										
	委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 令和3年度実施事業対象

PLAN	No.	6	—	9	基本事務事業名	指定管理者選定事務	事務事業名	指定管理者選定事務	公的関与	3	シート作成日	令和4年8月12日		
	部局名	企画総務部			課名	契約管財課	主務課長名	吉成 永吾		シート作成者名	佐々木 大祐			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託			
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☒ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共につくる阿波				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(4) 協働のまちづくりの推進				☒ 1 該当		令和 年 ~	令和 年	☐ 期間設定なし		
		主要施策		(1) 多様な分野における参画・協働の促進				☐ 2 非該当		根拠法令等				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		公の施設の管理者										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	指定管理者制度を導入することにより、多様化する市民ニーズに効果的・効率的に対応し、公の施設の管理に民間の能力やノウハウを幅広く活用しつつ、市民サービスの向上及び行政コストの削減を図ります。									
				今年度	指定期間終了施設の更新									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 指定管理者選定委員会事務													
	② 業務委託等の募集・発注事務													
	③													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標				
	指定管理者導入施設数					目標	68	68	68					
						実績	67	67						
						目標								
						実績								
						目標								
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	2	財産管理費
			令和 2 年度決算		令和 3 年度決算		令和 4 年度予算		備考					
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円							
		県支出金	千円		千円		千円							
		地方債	千円		千円		千円							
		その他特定財源	千円		千円		千円							
		一般財源	千円		千円		112 千円							
		計(A)	0 千円		0 千円		112 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.296 人	1,811 千円	0.296 人	1,802 千円	0.296 人	1,789 千円						
		臨時・嘱託職種												
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
	全体事業費(A+B)		1,811 千円		1,802 千円		1,901 千円							

CHECK		チェック項目		一次評価		一次評価の説明		二次評価			
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。		☐ 少ない	☒ 大きい	積極的に推進する必要があります。		☐ 少ない	☒ 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。		☐ ない	☒ ある			☐ ない	☒ ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。		☒ ある	☐ ない			☐ ある	☒ ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。		☐ いる	☒ いない			☐ いる	☒ いない		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。		☐ いえない	☒ いえる	積極的に推進する必要があります。		☐ いえない	☒ いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。		☐ いえない	☒ いえる			☐ いえない	☒ いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。		☐ する	☒ しない			☐ する	☒ しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。		☐ できない	☒ できる			☐ できない	☒ できる		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。		☐ 目標に比べて劣っている	これまでの効果、課題等を検証し導入していく必要があります。		☐ 目標に比べて劣っている				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。		☐ あまり上がっていない			☐ あまり上がっていない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。		☐ 概ね達成している			☐ 概ね達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。		☒ 十分達成している			☒ 十分達成している				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。		☐ 高い	☒ 適当	制度導入により、民間ノウハウを活用したサービス向上及び管理運営の効率化が図れます。		☐ 高い	☒ 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。		☐ できる	☒ できない			☐ できる	☒ できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。		☐ ある	☒ ない			☐ ある	☒ ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。		☐ ある	☒ ない			☐ ある	☒ ない		
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		3	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実		☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	☐ 拡大・充実		☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等
		☐ 縮小		☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		☐ 縮小		☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止	
	当面の課題	指定管理者が行うサービスの質を向上させ、市民の満足度をさらに高めることや、適正な運営管理ができていないか市が確認していく必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	モニタリング制度を的確に運用し、指定管理者が行う自己評価や、市が行う年次評価を行います。					本来の趣旨に基づいて管理運営します。					
委員会指摘事項											

PLAN	No.	6	—	10	基本事務事業名	本庁舎管理事務		事務事業名	庁舎維持管理事務		公的関与	2	シート作成日	令和4年8月12日			
	部局名	企画総務部			課名	契約管財課		主務課長名	吉成 永吾		シート作成者名	佐々木 大祐					
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☒ 3 全部委託						
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等						
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共につくる阿波				実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施策)		(5) 計画的な行財政運営の推進				☐ 1 該当		令和		年	～	令和		年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(3) 公共施設の総合的な管理の推進				☒ 2 非該当		根拠法令等							
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	阿波市役所														
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	機能や美観を維持します。													
			今年度	維持管理に努めます。													
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)																
	① 環境衛生管理業務																
	② 浄化槽維持管理業務																
	③ 自動ドア、空調設備、エレベータ設備、消防設備等の保守点検業務																
	④ 保安警備業務																
	⑤ 庁舎会議室管理事務(令和4年度から庁舎維持管理業務に統合)																
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和	2	年度	令和	3	年度	令和	4	年度	最終目標			
		指標設定になじまないため 設定しない。		目標													
				実績													
				目標													
				実績													
				目標													
		実績															
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	2	財産管理費		
			令和				2	年度決算	令和	3	年度決算	令和	4	年度予算	備考		
	直接事業費	国庫支出金			千円				千円				千円				
		県支出金			千円				千円				千円				
		地方債			千円				千円				千円				
		その他特定財源			千円				千円				千円				
		一般財源	36,850		千円		36,850		千円		36,850		千円				
		計(A)	36,850		千円		36,850		千円		36,850		千円				
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.585	人	3,579		千円	0.585	人	3,562		千円	0.585	人	3,535		千円
		臨時・嘱託職種															
		臨時・嘱託工数・経費		人	0		千円		人	0		千円		人	0		千円
	全体事業費(A+B)				40,429		千円			40,412		千円			40,385		千円

		チェック項目		一次評価		一次評価の説明		二次評価			
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	施設の機能を維持するため、日常点検及び法定点検が必要です。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	施設の機能の維持及び施設内を清潔な状態に保つためには有効です。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	維持管理計画等に基づき保守点検等を実施しています。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☒ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☐ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	庁舎と交流防災拠点施設アエルワの一元管理を実現することで、事務の効率化やコスト削減に努めています。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	3	4	A	4	4	3	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	施設を維持管理していくためには、計画的に設備の更新を行っていく必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	今後も維持管理業務の受託業者との協議を重ね維持管理を行います。					計画的に維持管理を行います。				
	委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート 令和3年度実施事業対象

PLAN	No.	6	—	11	基本事務事業名	公共施設マネジメント事業	事務事業名	公共施設マネジメント事業	公的関与	2	シート作成日	令和4年8月12日		
	部局名	企画総務部			課名	契約管財課	主務課長名	吉成 永吾		シート作成者名	佐々木 大祐			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託			
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☒ 6 内部管理事務・その他			☒ 2 一部委託		☐ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共につくる阿波				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(5) 計画的な行財政運営の推進				☒ 1 該当		令和 26 年 ~	令和 年	☐ 期間設定なし		
		主要施策		(3) 公共施設の総合的な管理の推進				☐ 2 非該当		根拠法令等				
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	公共施設及びインフラ施設											
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	数量適正化、施設長寿命化										
			今年度	公共施設等総合管理計画、公共施設個別管理計画の推進 旧大俣保育所をはじめとする遊休施設の利活用の推進										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 公共施設の統廃合及び維持管理に関する総合的な計画策定と運用推進													
	② 遊休施設等についての利活用の推進													
	③													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度 を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標						
		指標設定になじまないため、設定しない		目標										
				実績										
				目標										
				実績										
				目標										
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	2	財産管理費
			令和 2 年度決算			令和 3 年度決算			令和 4 年度予算			備考		
	直接事業費	国庫支出金	千円			千円			千円			令和2年度は阿波市公共施設等総合管理計画更新業務を実施。		
		県支出金	千円			千円			千円					
		地方債	千円			千円			千円					
		その他特定財源	千円			千円			千円					
		一般財源	2,288 千円			千円			2,728 千円					
		計(A)	2,288 千円			0 千円			2,728 千円					
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.250 人	1,529 千円		0.250 人	1,522 千円		0.250 人	1,511 千円				
		臨時・嘱託職種												
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円		人	0 千円		人	0 千円				
	全体事業費(A+B)		3,817 千円			1,522 千円			4,239 千円					

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	公共施設等総合管理計画については総務省より各自治体に要請があり、今後の財政状況、人口動向、施設老朽化の進行を踏まえ令和3年度に改定しています。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	公共施設全体の管理計画として有効です。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	今後は計画を実行段階に移していくことが重要です。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	PDCAサイクルを実施し、計画のフォローアップを図ります。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民間委託等 ☐ 縮小 ☐ 統合/終期設定 ☐ 廃止/休止				☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民間委託等 ☐ 縮小 ☐ 統合/終期設定 ☐ 廃止/休止					
	当面の課題	公共施設マネジメント推進のため、各施設所管課に計画の周知をはかります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	個別管理計画に基づき、関係所管課と連携しながら進めてまいります。									
	委員会指摘事項										

PLAN	No.	6	—	12	基本事務事業名	固定資産台帳整備事務	事務事業名	固定資産台帳整備事務	公的関与	2	シート作成日	令和4年8月12日		
	部局名	企画総務部			課名	契約管財課	主務課長名	吉成 永吾		シート作成者名	佐々木 大祐			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託			
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☒ 6 内部管理事務・その他			☒ 2 一部委託		☐ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共につくる阿波				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(5) 計画的な行財政運営の推進				☒ 1 該当		令和 年 ~	令和 年	☐ 期間設定なし		
		主要施策		(3) 公共施設の総合的な管理の推進				☐ 2 非該当		根拠法令等				
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		阿波市公有財産及び高額物品										
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	公共施設マネジメントの活用を図り、行財政改革を推進する。										
			今年度	公会計制度の運用開始に伴い、年度更新を行います。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 市の公有財産及び高額物品の新規取得や変動を調査し、固定資産台帳を更新する。													
	②													
	③													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標				
			指標設定になじまないた め、設定しない			目標								
						実績								
						目標								
						実績								
						目標								
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	2	財産管理費
			令和 2 年度決算			令和 3 年度決算			令和 4 年度予算			備考		
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円			
		県支出金			千円			千円			千円			
		地方債			千円			千円			千円			
		その他特定財源			千円			千円			千円			
		一般財源	761		千円	1,238		千円	1,375		千円			
		計(A)	761		千円	1,238		千円	1,375		千円			
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.150	人	918	千円	0.150	人	913	千円	0.150	人	906	千円
		臨時・嘱託職種												
		臨時・嘱託工数・経費		人	0	千円		人	0	千円		人	0	千円
	全体事業費(A+B)				1,679	千円			2,151	千円			2,281	千円

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	地方公会計制度の運用に必要です。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	行財政改革の推進に有効です。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	適正な固定資産台帳の更新を実施します。 また公共施設マネジメントへの活用も検討します。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	効率的な運用を図っています。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	3	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民間委託等 ☐ 縮小 ☐ 統合/終期設定 ☐ 廃止/休止				☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民間委託等 ☐ 縮小 ☐ 統合/終期設定 ☐ 廃止/休止					
	当面の課題	固定資産台帳の利活用について、今後検討していく必要があります。				二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点					
	改革案と実行計画	財務書類を作成する財政課と調整しながら、職員研修を重ねていきます。				データを利活用し財産、資産を適正管理するよう努めます。					
委員会指摘事項											

PLAN	No.	6	—	13	基本事務事業名	入札参加資格申請審査事務	事務事業名	入札参加資格申請審査事務	公的関与	2	シート作成日	令和4年8月16日			
	部局名	企画総務部				課名	契約管財課	主務課長名	吉成 永吾		シート作成者名	藤本 憲二			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☒ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)				該当なし		実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)						☐ 1 該当		令和 年 ~	令和 年	☒ 期間設定なし			
		主要施策						☒ 2 非該当		根拠法令等		地方自治法施行令第167条の5第1項及び第167条の11第2項			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		入札参加資格申請書提出業者											
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	申請書の内容を審査し、有資格者が名簿に登載されている。より効率的で迅速な名簿確定方法への改善の検討を行う。											
			今年度	申請書の内容を審査し、有資格者が名簿に登載します。より効率的で迅速な名簿確定方法への改善を検討します。											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 提出された申請書の書類審査(1月中旬から受付開始予定)														
	② 入札参加有資格業者名簿に登載														
	③ 業者格付等の各種帳票作成														
	④ 追加受付の実施(8月中旬から受付開始予定)														
	⑤ 入札参加資格審査申請変更届受付(随時)														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標					
			指標設定になじまないため				目標								
							実績								
							目標								
							実績								
							目標								
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	2	財産管理費
			令和 2 年度決算		令和 3 年度決算		令和 4 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円								
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	660 千円		660 千円		660 千円								
		計(A)	660 千円		660 千円		660 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.000 人	6,118 千円	1.000 人	6,089 千円	1.000 人	6,042 千円							
		臨時・嘱託職種													
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
	全体事業費(A+B)		6,778 千円		6,749 千円		6,702 千円								

		チェック項目		一次評価		一次評価の説明	二次評価				
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	入札業者の選定には、必ず必要とされます。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	入札の公平性を図るために有効です。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	厳正に書類審査等を実施しています。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	徳島県及び近隣市町村の事務を参照しながら、より効率よく処理できるか検討していきます。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			
	当面の課題	1 参加者名簿の確定期間の短縮。 2 申請書、添付書類の簡素化。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	上記課題を改善できるよう現状を正しく把握し、改善方法を検討していきます。					適正な事務執行がなされています。改善すべきところは改善に努めます。				
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 令和3年度実施事業対象

PLAN	No.	6	—	14	基本事務事業名	電子入札事務		事務事業名	電子入札事務		公的関与	2	シート作成日	令和4年8月16日			
	部局名	企画総務部			課名	契約管財課		主務課長名	吉成 永吾		シート作成者名	藤本 憲二					
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☒ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託						
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等						
	総合計画	基本構想(政策)		5. 明日への基盤が整った阿波				実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施策)		(3) 情報化の推進				☒ 1 該当		令和		年	～	令和		年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(2) 行政内部のICT環境の充実				☐ 2 非該当		根拠法令等							
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		建設工事、測量・建設コンサルタント等業務の入札参加業者													
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	毎年度の電子入札対象案件を電子入札で実施できている。 より効率的で迅速な方法への改善の検討を行う。												
				今年度	令和4年度の電子入札対象案件を電子入札で行います。 より効率的で迅速な方法への改善を検討していきます。												
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)																
	① 電子入札システムへ工事、業務委託案件データを登録																
	② 阿波市ホームページでの入札情報の公表(入札公告、入札閲覧資料、入札結果)																
	③ 電子入札システムでの開札処理(指名通知発送、開札処理)																
	④ 入札制度の改善																
	⑤ 建設工事審査委員会等の開催																
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標							
			指標設定になじまないため				目標										
							実績										
							目標										
							実績										
							目標										
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	2	財産管理費			
			令和 2 年度決算		令和 3 年度決算		令和 4 年度予算		備考								
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円						
		県支出金			千円			千円			千円						
		地方債			千円			千円			千円						
		その他特定財源			千円			千円			千円						
		一般財源	2,261 千円		2,031 千円		2,199 千円										
		計(A)	2,261 千円		2,031 千円		2,199 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.650 人	3,976 千円		0.650 人	3,958 千円		0.650 人	3,928 千円							
		臨時・嘱託職種															
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円							
	全体事業費(A+B)		6,237 千円		5,989 千円		6,127 千円										

CHECK		チェック項目		一次評価		一次評価の説明		二次評価			
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	業者の方(入札参加者)が入札会場に来る必要がなくなります。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	入札の公平性を図るために有効です。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	システムの現状も把握しつつ、より効率的な電子入札の方法を検討していきます。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	関係者と協議しながら、より効率的な方法を検討していきます。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☒ ある	☐ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 3	総合評価 A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		
	当面の課題	入札案件が大量となった場合、担当者の処理が追いつかなくなるため、より効率的な方法や、より計画的な発注を検討していく必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	上記課題を改善できるよう現状を正しく把握し、改善方法を検討していきます。					徳島県のシステムを活用し、適正な事務が執行されています。今後も継続します。				
	委員会指摘事項										